

雜 錄

直接購買方法ノ一例

藤 澤 穉

都會ニ於ケル生計費、殊ニ食物費ノ負擔ヲ輕減スル爲ニ、從來ノ商慣習タル、消費者ハ小賣商人カラ、小賣商人ハ仲買人カラ、仲買人ハ卸問屋カラ、卸問屋ハ地方商人カラ、地方商人ハ百姓カラ、購買スル所謂善良ナル取引原則否更ニ車ニ賃シ、汽車ニ賃シ、又車ニ賃シ、倉庫ニ賃シ、配供小僧ニ賃スル等多種多様ノ中間商人ノ介在ニヨル取引ノ慣習ヲ破ツテ、近來米國ノ諸都市ニ於ケル問屋、仲買人、時トシテハ小賣商人ガ、以上ノ生産者カラ消費者マデノ過程ヲ自ラ短縮シテ農産物ノ直接購買ノ方法ヲ試ミ始メタコトデアル。

此方法タル問屋、仲買人ガ、陸續キナラバ自働貨車、水續キノ處ヘハ自働艇、又ハ小蒸汽ヲ

以テ番頭其他ノ代理ヲ派遣シ、地方商人又ハ生産者カラ直接ニ野菜、果實其他ノ農産物ヲ現金ヲ購入スルノデアルガ、之ガ爲ニハ時ニ九十哩モ遠方ニ出掛ケルコトモアルト云フ。生産者ノ方デモ一般取引ヨリモ二歩乃至五歩、多キハ一割モ收入カ多キトコロカラ之ヲ歡迎シテ、及ブダケ之等ノモノニ直接ニ賣捌カンコトヲ欲シテ、組合ヲ組織シテ居ルモノモ尠クナイ。而シテ其取引ハ都市ノ近郊ニ止マラズ紐育、費府等ノ問屋仲買人又ハ小賣商人ノ組合ニテハ西方并ニ南方諸州ニ迄モ手ヲ延バシテ居ル。此方法ノ行ハルル所以ハ蓋シ道路車馬等ノ輸送機關ノ改良ニ負フトコト多大ナルハ勿論デアルガ、其主タル動機ハ購買組合、公設市場ノ如キ特種小賣商業ノ發達ノタメ、中間商人ノ自衛策トシテ出現シタルモノデアル。熟レモ都會人ノ生計費輕減ニハ與ツテ效果ガアルガ、殊ニ此方法 依リテ果實野菜其他食料品ノ主要條件タル新鮮ト云フ點ニハ一層效果ノ大ナルモノガアル。

此直接購買法ノ傾向ノ代表的一例ハ現金買問

屋ニ依ツテ鶏卵ヲ商フ方法デアアル。問屋ノ番頭ガ多キハ毎日二回モ地方ニ出掛ケテ、鶏卵ヲ地方商人又ハ生産者カラ現金ニテ買入レ、即座ニ本店マデ廻送シテ、良否ヲ驗シ、等級ヲ付ケル。之等ハ特ニ或ハ發送シ、或ハ冷蔵セラルルコトモアルガ多クハ直接ニ上等品ハ、ホテル、料理店、小賣商人、等ニ賣捌カレ、並等品ハ食堂、下級小賣人、菓子屋等ニ賣渡サルルモノデアアル。蓋シ嘗テ都市ノ小賣商ガ地方ニ出掛ケテ仕入ヲ爲シ、又ハ百姓ガ都市ニ其鶏卵ヲ鬻ギタル等ノ經驗ガ、此鶏卵ノ直接購買ノ方法ヲ暗示シタモノデアロウ。

此直接購買ノ經濟的效果ニ付テ他ノ從來ノ商取引ニ比較シテ如何ナル成績デアルカラ見ル爲ニ次ニ二三ノ實例ヲ擧ゲテ見ヨウ、先ヅ

一、米國みねそた州ニ於ケル玉子相場ニ付テ、どんぶそん教授ノ研究シタル結果ニヨレバ、一九〇九年一月カラ一九一二年七月マデノ通常形式ノ直接購買値段ハ、先ヅ地方商人ガ農夫カラ鶏卵一打ニツキ四十二錢(假リニ一仙ヲ我ニ換算以下同様)ニテ買取

ツテ之ヲ箱詰費其他二錢口錢二錢ヲ課シテ同州づる一市(八口約)ノ小賣商人ニ四十六錢ヲ賣ル。此小賣商人ハ運賃約二錢ヲ拂ツテ之ヲ市ニ搬送シ、十錢ノ取扱手数料ヲ課シテ消費者ニ五十八錢ヲ賣却スルノデアアル。即チ消費者ノ購入價格ヲ生産者ノ販賣價格ニ比較スルト三割三步三分ノ一ノ増價デアアル。次ニ一般取引上ノ小賣値段ハ

二、紐育州食物調査委員會ニ依リテ任命セラレタル市場委員ガ一九一二年八月發表シタル同雞卵一打ニツキ假説ノ四十錢ヨリ出發シテ消費者ノ手ニ入ルマデノ増價ヲ計算シタル所ニ據レバ

イ、生産者ノ賣價	40.0	イ、地方商人ノ課金	0.25	ニ、市迄ノ運賃	2.25
ロ、地方商人ノ課金	0.25	其内課、一、買占費	1.00	四、口錢	2.00
ハ、仲買人ノ課金	0.25	二、箱代	0.25	三、小賣商人ノ課金	0.25
其内課、一、倉庫マデノ運賃	0.10	三、市迄ノ運賃	2.25	四、小賣商人ノ課金	0.25
二、検査及等級費	1.00	四、口錢	2.00	五、口錢或ハ利益	0.25
三、貯藏及保險料	0.25	五、利益	0.25	ニ、利益	0.25
ニ、小賣商人ノ課金	0.25	六、口錢或ハ利益	0.25	三、利益	0.25
其内課、一、營業雜費	0.25	七、口錢或ハ利益	0.25	四、利益	0.25
ホ、消費者ノ代價	58.00	八、口錢或ハ利益	0.25	五、利益	0.25

(1) "Studies in Egg-Marketing by C. W. Thompson" in Carver, ed. Selected Readings in Rural Economics P. 815

デアル。即チ(ホ)ノ(イ)ニ對スル増價割合ハ五割六歩半デアル。故ニ前ノ直接購買ニ比スルトニ割三歩ノ高價トナル譯デアル。又別ノ例トシテ

二、きんぐ教授ガ農産物分配費ニ關シテ一九一二年十月費府市長ぶらんけんぶるぐ氏ニ致シタル報告書ノ中雞卵ニ關スル一般小賣値段ハ大體次ノ階段ヲ經テ

イ、生産者ノ賣價	並等	三、	上等	四、
ロ、地方商人ノ賣價	並等	五、	上等	六、
ハ、卸問屋ノ賣價	並等	七、	上等	八、
ニ、小賣商人ノ賣價	並等	九、	上等	一〇、

トナル。茲ニ並等ト云フモノモ殆ソド新鮮ナル地玉トシテ賣捌カルルモノデ、嚴格ナ商人デモ尙之等ノ六割ハ上等地玉トシテ販賣セラルルノデアル。ソコデ生産者カラ消費者迄ノ増價歩合ハ並等デ安クテ十二割一步、高イノハ十七割二歩ノ高値デアル。然シ前ノ一トニ比較スルニ寧ロ適當ト考ヘラルル上等品ノ方デハ六割七歩ノ増加デアルカラ、直接購買ニ比スルト四割四

歩ノ高價デアルコトニナル。

以上三ノ場合ハ調査ノ場所ヲ異ニシ、且ツ時モ多少ノ相異アリテ比較研究ヲ爲スニ必シモ當ヲ得テ居ナイノデアルガ、然シ大體ニ於テ直接購買ノ方ガ、從來ノ多クノ中間商人ヲ經由スル所謂善良ナル取引慣習ニ比シテ、食料品ガ一層安價ニ消費者ノ口へ入ル蓋然性ヲ、ヨリ多ク持ツテ居ルコトハ確カデアル。固ヨリ生産者カラ消費者マデノ近路ハ夫レ自身ニ於テ希望スベキモノデハナイ。唯分配費ヲ低減スルコト自身ガ目的デアルカラ、中間商人ヲ經由スルモ尙ホ同様ニ食料品價格ヲ低減スルコトガ出來タナラバ、從來ノママデモ何等差支ノナイ譯デアル。然シ若干中間商人ヲ省略スル點ニ於テハ購買組合又ハ公設市場ト共通ノモノデ、社會政策上此兩者ガ認容セラルルナラバ直接購買方法モ亦是認セラルベキ筈ノモノデアル。唯此直接購買ノ缺點トシテハ物價ノ騰貴スル時期ニハ勢ヅイテ來ルガ、物價ノ下落スル時期ニハ閉塞シテシマウ傾向ノアルコトデアアル。併シ乍ラ大勢ハ増加

スル一方デアツテ、みねそた州東部中央地方ノ
一市ニテハ出現當時ノ一九〇九年ニ三十乃至四
十ノ間ヲ上下セシモノガ、次年ニハ百乃至百三
十、次年ニハ又百五十乃至百七十五、次年ニハ
二百以上ニ増加シタト云フコトデアル。日本ノ
都市ノ如ク購買組合モ微々トシテ振ハズ、公設
市場モ漸ク戰時中ノ產物デアル如キ域ニアルモ
ノニ直チニ此直接購買ガ有效ニ成立發達スベキ
モノデアルカハ疑問デアルガ。唯茲ニハ米國デ
ハ都市ニ於ケル生計費ノ低減ノ爲ニ斯ノ如キ方
法マデモ行ハレテ居ルコトヲ紹介スルニ過ギヌ
ノデアアル。